

つなぐ

Vol.37

2020.11月

大動脈弁狭窄症の外科手術が不可能もしくは高リスクな患者に対し、根治が可能な低侵襲カテーテル治療として2002年にフランスで第1例が施行され、以降世界中に普及してきた治療が「TAVI」だ。

近年の研究で、低リスク患者に対しTAVIは外科手術に比べ、中期成績においては同等かより良好、短期成績ではより良好であることが複数のRCTによって示されている。以上のデータより、2019年低リスク患者に対するTAVIについて、米国では米国食品医薬品局、欧州ではCEマークの承認を受けている。

このような背景を受けて、今年、本邦でも弁膜症治療に対するガイドラインが8年ぶりに改定された。この改定により大動脈弁狭窄症への治療選択が大きく変わることになる。

今年、当院のTAVIは1,200症例を迎えようとしている。ハートチーフリーダーである白井伸一が、十数年前にアメリカの学会にてTAVIのセッションを目の当たりにしたあの日からすべては始まった。困難や葛藤を乗り越え、切り開いてきた道が、今へとつながっている。



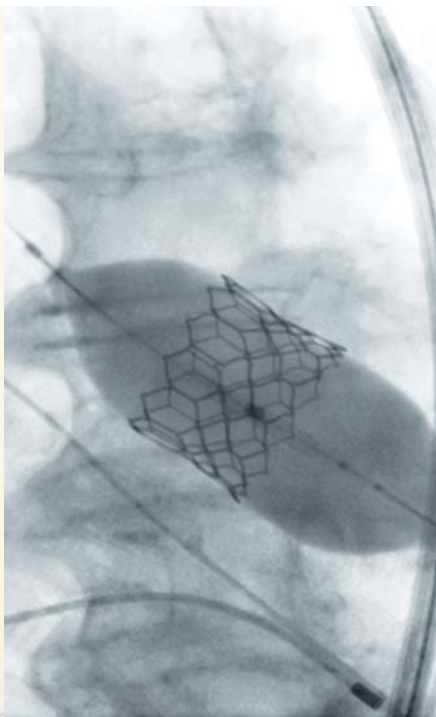
第46回

小倉循環器内科セミナー

2020年 11月16日(月) 18:00~18:40

ガイドライン改定で変わる心臓弁膜症治療

座長 / 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児



小倉記念病院
循環器内科 部長
白井 伸一

小倉記念病院
循環器内科 部長
磯谷 彰宏

参加方法



Zoomによる
web参加のみとなります!

zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

